

★★シチズン時計 ビジネス パーソンに「時間意識調査」 20 年前との比較で見えた「時 感（時間感覚）」調査

10 日は「時の記念日」。1920 年(大正 9 年)に生活改善同盟会によって制定。天智天皇が 671 年 6 月 10 日に漏刻(水時計)を設置し、初めて時を知らせたという「日本書紀」の記載が由来。高齢になるほど、動作が鈍くなり、一日が短くなり、出来ることも減少する。そうした変化を通じて、逆に「時間の重み」が見えてくる。誰にも平等に与えられた時間、残された有限の時間、「タイム・イズ・マネー」という言葉がある。人の時間を奪わない・待たせ過ぎない等、他人に迷惑をかけない暮らしを心掛けたい。処で 禅で「無常」を知ることは「限りある今を 丁寧に生きる」ことに繋がります。

シチズン時計が 20 代以上の働く男女 400 人 ビジネスパーソン(給与所得者)を対象に『時感(時間感覚)』調査。20 年前に使用された「早朝」「未明」「真夜中」「午前様」「チョット一杯」「朝イチ」「朝帰り」等の言葉を 具体的な時間を示さず、人による捉え方・感じ方が異なる曖昧な“時間語”が多く存在する。現代人はどのような時間感覚で捉えているかを調査。

早朝：4 時 42 分～6 時 42 分、20 年たてもほぼ変化なし
未明：0 時 54 分～3 時 06 分が 0 時台に前倒し
真夜中：22 時 18 分～2 時が 23 時台前半へシフト
午前様：3 時 48 分以降、20 代では、平均 5 時 48 分の始発レベルに移行
チョット一杯：平均 79 分、軽く飲む=1 時間超で感覚は 20 年前と変わらず
朝イチ：7 時 12 分頃、20 年前より 40 分早まり 20 代では 6 時代
朝帰り：5 時 12 分～7 時 36 分が始発～通勤時間帯前後が現在感覚。

近年は働き方の多様化やインターネット・スマートフォンの普及により時間の使い方・コミュニケーションが大きく変化しました。また生活シーン項目調査で「どの位の時間で動画広告を長いと感じるか」を尋ねた処、「30 秒」との回答が全体の 39.5%で最多だった。それより短い秒数を答えた人も含めると 8 割超に達し、担当者がショート動画の広がり「タイパ(時間帯効果)」重視の傾向が広告視聴にも表れたのではないかと分析。また同社の LINE の返信時間に対する調査では、即時返信を前提としないコミュニケーション感覚が広がっている状況が伺えたと報告。詳細はYouTubeで・・・

★都庁 熱中症警戒アラート運用開始に合わせて

新クールビズ 省エネ 勤務を解禁

4 月 3 日から熱中症警戒アラート運用開始に合わせて、都庁は新クールビズの省エネ勤務を解禁。昨年まで認められなかったハーフパンツや T シャツ姿の勤務も認めました。

1970 年代に外資系企業が「カジュアル・フライデー」を取り入れた。処が 何を着ればいいのか・どこまで崩して良いのか・上司より目立ってはいけないという戸惑いのため、スーツ文化と私服文化の折衷案が生まれ、まじめに考え、周囲から見ると統一感のない ポロシャツに黒革のベルトの短パン、黒ソックスに革靴スタイルで出勤。“なんとなく変”と映り、社内女性より「ダサイ」と評価。「ダサイ」とは実態はなく「おしゃれ」「ふさわしい」の下区別から生まれる。その境界線は歴史的背景や社会的状況で動くもので、従ってダサイを恐れて卑屈になってはいけません。

最近では TV の CM や情報誌・ファッション誌は豊富に出回り、またコロナ禍で服装観もかわり、在宅勤務やオンライン会議を経験しスーツでなければ仕事にならないという神話が崩れた。今後、夏場には 省エネグッズが普及するかと問われても、多様性が認められる時代となり、かつては「みんな同じ格好」が安心感を生んだけれど、現在は人によっては価値観が広がっています。しかし 短パンなら、何でもよいわけではなく、服装そのものより TPO(時・場所・場合)を合わせる必要があります。

但し 医療・福祉業界でも介護現場サイドで OK でも、常に 半パン・ポロシャツ・カリュシ・アロハシャツ・スリッパ・サンダル姿では相手に対して失礼になることもある為、実施は難しく定着しないかも・・・。

3 年連続の猛暑日が続き、今年も熱中症対策として明石市では市内 145 か所に「ひと涼みスポット」を設置。頻回に水分摂取は勿論の事 外出時の熱中症対策に活用してほしいものです。

特売日 いつもの人が 戦友に
思ったら やっちゃえ 直ぐに 年を取る
あかんあ 何でもかんでも 人のせい
もう カラスなみに 商店街にクマ
「1 日が短い」と いいつつ 昼寝する

令和 8 年 夏 至 (文責: MMY)